

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		志村 健一	所 属		観光産業科学部 産業経営学科	職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○学部担当科目、大学院担当科目の講義目標を達成すること ◎各講義回数15回を達成すること ○ゼミ学生への進路指導相談などの学生支援を行うこと ○2年次夜間主指導教員として個別面談を行い、学生支援をすること 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ○学部担当科目、大学院担当科目の講義目標を大体は達成することができた ◎各講義回数15回を達成した ○ゼミ学生への進路指導相談などは、体系的ではないがゼミの中での雑談を通して行った ○2年次夜間主指導教員として個別面談を担当学生全員と行うことができた 		
研究	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ○学会発表を1件行うこと ○論文1件の投稿を行うこと テーマは「企業行動科学と日本的品質管理について」(基礎科学研究)としたい 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ○学会発表を経営システム学会で1件「相関係数と標準偏差」を行った ○経営システム学会へ論文1件投稿を行った。 タイトルは「視覚化を通じた相関係数理解の試み」(基礎科学研究) 		
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ○文献賞委員としての職責を果たすこと 			0.05	<ul style="list-style-type: none"> ○文献賞委員として1件の審査を行った 		
管理運営	0.60	<ul style="list-style-type: none"> ◎関係者と協働して組織改革案を作成すること ◎法人評価の資料を作成し、次期中期計画に活かすこと ○中期計画の実施と報告書を作成すること ○全学会議へ参加し、学部運営に活かすこと ○学部内会議を運営し、学部運営を効果的に実施すること ○学外会議に参加し、学部運営に活かすこと 			0.60	<ul style="list-style-type: none"> ◎将来計画委員会、法文学部との合同WGなどを通して組織改革案を検討し、新学部案を作成中 ◎法人評価の資料を作成し、次期中期計画に活かすためにFDとして報告を行う ○中期計画の実施と報告書を作成した ○全学会議へ全回出席した。 ○予算に関連して、間接経費、予算配分に関する問題点の改善を行った ○夜間教育実施大会議に参加し、学部運営への情報を得ることができた 		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		所属		職 名	
牛窪 潔		観光産業科学部 産業経営学科		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.30	0.40	<p>○テキストを製本し、PPTを新たに作成することにより、効果的なアクティブラーニングを実施できた。</p> <p>○教材を改訂し、PPTを新たに作成することにより、効果的なアクティブラーニングを実施できた。</p> <p>○教材を改訂し、PPTを新たに作成することにより、効果的なアクティブラーニングを実施できた。</p> <p>○FDは、今年の3月の教授会の際に実施する予定。</p> <p>○教材(SPSS操作マニュアル)を改訂し、ゼミの学生に配布した。活用は平成28年度前学期より。</p> <p>○授業内容をPPT化することにより、効果的なアクティブラーニングを実施できた。</p> <p>○シラバスの充実、授業内容・授業方法の改善により、学生の満足度と理解度は全教科4.5以上。</p>		
研究	0.20	0.10	<p>○「ドラッカー3大古典に関する文献研究と論文の作成 ○科研費「沖縄型マネジメントに関する一考察」の申請</p> <p>○「ドラッカー経営学の独自性・妥当性・先見性と現代的意義：事業のマネジメントに関する考察」と題する論文は、本年3月10日に完成予定。 ○「沖縄型マネジメントに関する一考察」と題するテーマで科研費の申請を行った。</p>		
社会 貢献	0.20	0.30	<p>○琉球大学サテライト・イブニング・カレッジの管理・運営・評価 ○沖縄県生産性本部副会長としての任務遂行</p> <p>○平成27年4月より沖縄産業支援センターにて、RSECがスタートし、前学期・後学期を通じて、ほぼスケジュール通りに仕事を推進することができた。 ○沖縄県生産性本部副会長として、理事会が2回、総会が1回開催・出席し任務を全うした。</p>		
管理 運営	0.20	0.10	<p>○RCC事業に関する委員会への出席 ○経営協議会への学内委員としての参加 ○産業経営学科長としての効果的な任務遂行</p> <p>○RCC事業に関する委員会が、6回開催・出席し任務を全うした。 ○経営協議会が、3回開催・出席し任務を全うした。最終の会議は、平成28年3月11日。 ○産業経営学科長として、任務を何とか遂行した。</p>		
進路 指導	0.10	0.10	<p>○指導教員として1年次学生(昼間主15名)に対する個別指導 ○ゼミの学生に対する進路指導と就活対策</p> <p>○前学期1回、後学期1回、登録調整期間中に、1年次生に対して個別指導を実施した。加えて、学習達成度シートをエクセル化し、メール上でも学生とコミュニケーションを取れるようにした。 ○ゼミの学生9名(3年生)に対して、個別の進路指導及び就活指導を行った。</p>		
計	1.00	1.00	<p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p> <p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。		<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		與那原 建	所 属		観光産業科学部 産業経営学科
			職 名		教授
領域	業務 ウエイト比(予 定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウエイト比(実 績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.25	○経営戦略論・競争戦略論の講義資料の作成と受講生の評価をふまえた授業の改善、授業評価アンケートの実施 ○経営学演習Ⅰにおける研究指導(効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、ゼミ論文のテーマ設定についての指導) ○経営学演習Ⅱにおけるゼミ論文の作成指導		0.25	○担当科目について新たな内容を盛り込んだ講義資料を作成し、受講生からの授業評価をふまえた授業の改善に取り組んだ(事例の追加、WebClassの活用)。授業評価アンケートも実施した(前・後学期)。 ○演習Ⅰにおける効果的なレジュメの作成およびプレゼンの方法、論文テーマの設定について指導を実施し、ゼミ学生の成長ぶりを実感することができた。また全員の論文テーマも確定した。 ○ゼミ論文の作成指導を行い(演習Ⅱ)、ゼミ生全員(19名)が論文を完成させた(教育後援会の補助を受け、論文集は製本予定)。
研究	0.30	○科研費基盤研究(C)の最終報告書の作成 ○ダイナミック能力論にかかわる研究のまとめ		0.30	○科研費基盤研究(C)について研究代表者として研究会を開催し、そこで研究報告を行った(3月7日も研究会開催予定)。なお研究期間の延長により、最終報告書は次年度作成することになった。 ○ダイナミック能力論にかかわる論文(「ダイナミック能力論の可能性」「ダイナミック能力と両利きのマネジメント」)を研究会で報告した。研究成果の公表は次年度を考えている。
社会 貢献	0.15	○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長としての貢献		0.15	○地域産業資源活用事業評価委員会・農商工等連携事業評価委員会(内閣府沖縄総合事務局)委員長として委員会を開催し、申請のあった案件の審査を行い、基準を充足したものを認定した。
管理 運営	0.15	○各種委員会委員としての貢献(AO委員会など)		0.15	○AO委員として、会議に参加し、オープンキャンパスについて議論するとともに、学部の高校訪問(入試説明など)の調整(担当者の決定と日程調整)を行った。
進路 指導	0.15	○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施 ○ゼミ卒業生との交流会を通じた進路指導(進路意識の高揚)		0.15	○ゼミ所属学生に対する進路相談への対応と模擬面接の実施により、ほぼ全員の進路が決定した(進路未定の1名は来年度公務員試験受験予定)。 ○ゼミ卒業生との交流会を開催し、現役ゼミ生の進路意識を高めることができた(交流会は今後も継続して実施する予定)。
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		桑原 浩		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次指導教員として、学生とのe-mail,Webclassを活用したサポート体制を実施する。 ・科目「観光マーケティング論」、「観光事業論」の教材改善を図る。 ・担当科目の単位の実質化を図る。 ・個人指導担当2年次生及びゼミ生の学習達成度に関する個人指導を実施する。 ・各学期の開始時及び随時に3年次及び4年次ゼミ学生への進路指導を実施する。 				0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次指導教員として、学生への学務等の連絡にe-mailによる一斉配信を実施した。また、年次別懇談会、演習I(ゼミ)仮登録の指導にWebclassを活用した。 ・科目「観光マーケティング論」、「観光事業論」の授業課題について、改善を行った。 ・個人指導担当2年次生及び所属ゼミ学生の学習達成度に関する個人指導を実施した。 ・各学期の開始時及び終了時に3年次及び4年次ゼミ学生への進路指導を実施した。 				
研究	0.40	研究の種類: 応用的研究、実践的研究 研究テーマ: 東南アジアにおける観光マネジメント、観光ルート開発、フードツーリズム <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金に基づく研究「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」に関する最終研究報告書を作成する。 ・科学研究費補助金(基盤C)の新規応募を行う。 ・上記研究テーマに関する論文を1編以上執筆する。 				0.40	<ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金に基づく研究「後発開発途上国ラオスにおけるプロプアツーリズムのための人的資源管理」に関する最終研究報告書を作成中であり、3月末までに完成予定である。 ・科学研究費補助金(基盤C)の新規応募を行った。 ・フードツーリズムに関する論文「海外旅行の食体験に関する満足と評価: パッケージツアーにおける食サービスの改善に向けて」を琉球大学法文学部研究紀要経済研究90号にて公刊した。 				
社会 貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ・科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施する。 				0.05	科目「観光マーケティング論」の公開授業を実施した。				
管理 運営	0.15	以下の担当委員会へ積極的に参加する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「全学附属図書館学術情報基盤資料選定委員会及び附属図書館運営委員会」 ・「全学実験動物委員会」 ・「留学生センター運営委員会及び短期留学プログラム実施委員会」 ・「大学評価センター委員会」 ・「学部図書紀要委員会」 				0.15	授業時間および年休期間との重複時を除いて左記委員会への出席した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		井川 浩輔		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.30	①教育に関して、本年度は新たに「インターンシップ」と「Introduction to Business English I・II」の講義をこれまでの課題をもとに再開発したうえで新任教員への引き継ぎを実施する。 ②学生支援に関して、本年度は新たに「経営学演習 I・II」において県内企業と協力し、実際の企業活動を学生が行う実践的講義を開発し実施することによって、就業力や社会人基礎力の向上を目指す。 ③本年度担当している科目の単位の実質化を図る。				0.30	①「インターンシップ」はキャリア・コンシェルジュ室のスタッフと従来の課題を整理し講義方法(実習先の調整など)に改善を新たに加えて新任教員に引き継いだ。「Introduction to Business English I・II」はアルクのスタッフと従来の課題を整理し改善(実際のTOEIC試験実施)を新たに加えて新任教員に引き継いだ。 ②「経営学演習」において県内企業と協力し実践的講義を新たに開発した。 ③本年度担当した科目(人的資源管理論など)の単位の実質化を図った。				
研究	0.30	①現在、研究代表者として外部資金を獲得しているが、その外部資金に関する調査を実施してデータを収集するとともに論文を執筆する。 ②獲得している外部資金が本年度で終了するため、新たな外部資金を獲得するために申請を行う。				0.30	①研究代表者として外部資金に関する調査を実施してデータを収集・分析した。また、論文「人事コンピテンシーに関する予備的分析」『経済理論』(和歌山大学, 第381号, 149~170頁, 2015年, 共著)を執筆・公刊した。 ②新たな外部資金を獲得するために申請を行った。				
社会 貢献	0.30	①琉球大学サテライト・イブニング・カレッジ(RSEC)で開講する「人的資源管理論基礎・応用」講義の教材を新たに開発し、その教材を用いて沖縄産業支援センターで学外の社会人に授業を行う。 ②管理職や新人を対象とした人的資源管理に関する研修をボランティアで実施する。				0.30	①「人的資源管理論基礎・応用」講義の教材を新たに開発し、その教材を用いてRSECで学外の社会人などに授業を行い、授業評価アンケートで高い評価を得た。さらに、その講義の実践授業として青森秋期研修を新たに企画・実施した。 ②管理職などを対象とした講義を広島大学大学院で新たに行った。				
管理 運営	0.10	①就職センター運営委員会などの委員として、それぞれの委員会に参加し、大学の管理運営に関する情報収集や情報発信を行う。 ②4年次指導教員として学位授与式などのマネジメントを行う。				0.10	①委員会に参加し大学の管理運営に関する情報収集や情報発信を行った。 ②4年次指導教員として学位授与式などのマネジメントを行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)									
名 前		多賀 寿史		所 属	観光産業科学部 産業経営学科		職 名	准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	3.50	今年度の担当科目である、簿記原理1、会計学原理1、2、経営学演習1、2、International Accounting1の講義において、学生の理解が進むような講義の工夫を行う。E-learningも活用していく。経営学演習1、2においては学生のキャリア形成に必要な講義を適宜組み込んでいく。講義に関しては、15回の講義+1回の試験で単位の実質化を図る			4.00	今年度の講義はおおむね順調に行えたと思う。E-learningの活用方法に改善が必要と思われるので、次年度改善を図りたい。			
研究	3.50	最近の関心事は、主観のれん説と日本の会計基準の理論的考察であるので、この大きな主題を解明すべ現在論文作成の作業を行っている。紀要論文2本はマストとして作業していくと同時に、学会で報告する機会を模索したいと考えている。なお、科研費の申請は考えている。			2.00	今回は、論文は1本紀要論文であるが提出した。来年度は学会報告を含めて精力的に研究活動をしていかなければと反省している。			
社会貢献	1.50	冲国大で非常勤として簿記原理を担当しており、琉球大学のサテライトキャンパスで講義を担当し、公開講座も開講するので、そこできっちり仕事をこなす予定			1.50	冲国大の非常勤、サテライトキャンパスでの講義もそつなくこなしたと思う。			
管理運営	1.50	学科の仕事、全額の仕事しての生涯教育センターの委員、学生主任の仕事をそつなくミスなくこなしていきたい。			2.50	学科の仕事、全学の仕事は課題通りこなしたと思う。今年度はこちらの方にかかりきりになったことが多かったので、次年度以降研究教育とのバランスを考えていきたい。			
	0.00				0.00				
計	10.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			10.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		野口 浩		所 属		観光産業科学部 産業経営学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育	0.25	①全ての講義において、質の高いものを提供できるように工夫する。 ②大学院2年生4人の修士論文を期限までに完成させるように指導する。 ③担当科目の単位の実質化を図る。				0.20	①→米国の講義の良いところを十二分に吸収した。次年度の講義においてはそれを活かしていきたい。講義のマテリアルも改良したいと考えている。 ②→大学院2年生4人の修士論文はすべて期限までに完成した。				
研究	0.60	①米国の税法を深く研究する。 ②経済研究に投稿済みの研究ノートを、英語の論文としてまとめ上げる。なお、論文の公表は、平成28年6月ごろを予定している。				0.70	①→ロー・スクールの講義や、ワークショップに参加することで、米国の税法を深く研究することができた。それを今後の研究の糧にしていきたい。 ②→留学中に英語の論文を1本書き上げた。米国の査読付きのジャーナルに投稿予定である。				
社会貢献	0.05	①講義等を通して、国民の納税意識の向上に努める。				0.025	①→国民の納税意識の向上に努めた。				
管理運営	0.05	①学科、学部および大学の管理運営に寄与する。				0.025	①→後期は留学していたが、前期は管理運営に貢献できるように努力した。				
進路指導	0.05	①EY税理士法人との関係をこれまで以上に深め、また、日本の大手アカウンティング・ファームとの関係も深めることで、学生の就職に結びつける。 ②東京の有力企業の人事部との交流を保つ。				0.05	①→EY税理士法人に2人、日本の大手アカウンティング・ファームの1つである、辻・本郷税理士法人に1人、学生が就職した。今後もこの関係を続けていきたい。②→東京の有力企業の人事部との交流を保った。これを学生の就職へと繋げていきたい。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00					
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		宮国 薫子	所 属		観光産業科学部 産業経営学科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.30	1. 授業15回における出席を毎回、確認し、担当科目の単位の実質化をはかる 2. 経営学演習Ⅱにおいて、4年生の進路指導の進捗状況を月2回は確認する。 3. 経営学演習ⅠⅡにおいて英語による授業を徹底する。 4. 経営学演習ⅠⅡにおいて学生の学外での研究発表を促す。 5. ホームページに各授業の進捗状況を月2回はアップデートして学生に学びやすい環境を提供する。		0.40	1. 授業15回における出席を毎回、確認し、担当科目の単位の実質化をはかった。 2. 経営学演習Ⅱにおいて、4年生の進路指導の進捗状況を確認した。3名が就職、一名が大学院に合格した。 3. 経営学演習ⅠⅡにおいて英語による授業を徹底した。 4. 経営学演習ⅠⅡにおいて3人の学生が交換留学(チュラロンコン大学、タマサート大学、キャンベル大学)した。 5. 観光情報論のホームページを頻繁にアップデートした。
研究	0.40	1. 「観光に対する態度の研究(西表島)」を国際学会誌 (Journal for Sustainable Tourism) に投稿する。 2. SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)において得られた調査結果(パラオ共和国の持続可能な観光に関する研究)を観光研究学会(全国大会)で発表する。 3. 琉球大学紀要「経済研究」に「観光リンクージュに関する研究(首里城)」を投稿する。		0.25	1. 「観光に対する態度の研究(西表島)」を国際学会誌 向けに執筆中 2. SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)において得られた「パラオ共和国における住民の観光開発に対する態度」のアンケート調査結果を分析中。 3. 琉球大学紀要「経済研究 90号」に「観光リンクージュ再考(首里金城地区景観形成地域の事例)」を投稿した。 4. 琉球大学国際沖縄研究所の「新しい島嶼学の創造プロジェクト」の最終年度報告書に「新しい島嶼学への提言—観光学の分野から」を寄稿した。 5. SATREPSにおいて「パラオ共和国における観光のキャリングキャパシティ」の研究をはじめた。
社会 貢献	0.20	1. SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)における国際ワークショップやシンポジウムを行う 2. 那覇市都市計画審議会委員 3. 沖縄県地方港湾委員会委員 4. 沖縄県国土利用計画審議会委員 5. 沖縄県指定管理者制度運用委員会委員		0.20	1. 今年は、SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)の中間年にあたったので、JICAやJST向けに進捗状況を報告した。 2. 那覇市都市計画審議会委員 3. 沖縄県地方港湾委員会委員(今年度は会議はなかった) 4. 沖縄県国土利用計画審議会委員 5. 沖縄県指定管理者制度運用委員会委員 6. 沖縄県那覇市公設市場外部調整委員会委員
管理 運営	0.10	1. 委員会委員(3) 2. 2年次指導教員の責務を果たす		0.15	1. 将来計画委員、広報委員の責務を果たした。 2. 2年次指導教員(オープンキャンパス時イベントの指導、ゼミの募集等)の責務を果たした。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		福井 眞司	所 属		観光産業科学部学部 産業経営学科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	3.50	<ul style="list-style-type: none"> 簿記原理1(1年次必修科目)習得の充実を図る。 担当科目の講義回数管理など実質化を図る。 Eラーニング(WebClass)を活用して、履修学生の個別対応を図る。 また講義内容などデジタル化してエビデンスとして管理・保存する。 		3.50	<ul style="list-style-type: none"> 簿記原理I(必修)について習得格差が広がる傾向に対して、出来ない学生向けに課題提供で改善を図った。また学生ごとに講義出席管理を図った。 学生に対して、WebClass利用で課題等を提供し予習復習の習慣化を図った。 講義内容(配布プリント等)を全てデジタル化してWebClassに管理・保存した。 			
研究	3.50	<ul style="list-style-type: none"> 大学紀要および所属学会に研究論文を投稿・掲載する。 今年度のテーマは、1)「地方ベンチャーの起業実態と特質」 2)「上場ベンチャー企業の財務報告の現状分析」である。 		3.50	<ul style="list-style-type: none"> 学会雑誌(レフリー付)に統一テーマと異なるという理由で投稿論文の大幅を要請された。それゆえ、その趣旨に沿ったテーマ内容に書き換え中である。 上記テーマでリサーチした資料データを、次年度の大学紀要に研究ノート投稿する計画である。 			
社会貢献	1.50	<ul style="list-style-type: none"> 簿記会計について、公開講義や出前講座などで普及に努める。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> 今年度はとくに公開・出前講座の要請はなかったので実施しなかった。 今後に向け、複式簿記および決算書の読み方(中高生徒向け)について、図解などを多用し、短時間で理解可能なコンテンツ作成を実施した。 			
管理運営	1.50	<ul style="list-style-type: none"> 各種担当委員会の委員活動を確実に遂行する。 		2.00	<ul style="list-style-type: none"> 担当委員会等の活動を確実に実施した。 とくに学士教育プログラム員会(UGRUU)で検討されている「講義シラバスについて改善フォームを検討・作成した(継続中)。 			
	0.00			0.00				
計	10.00			10.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		橋本 俊作	所 属		観光産業学部 産業経営学科	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.60	学生のキャリア形成に必須となる基礎力醸成の支援 ・インターンシップ、情報リテラシー、英語力		0.60	インターンシップ:海外インターンシップ(バリ島)を実施。現地ツアー会社、バリ倶楽部の協力により、ほぼ自費ながら4名が参加した。現地スタッフとも交流し、働くことの意味、また、リゾートビジネスの理解が進む結果を得た。情報リテラシー:担当科目「情報科学演習」において、情報の意味についての理解を促進した。英語力:担当科目「Introduction to Business English I、同II」において向上を図った。平均点は、400点台半ばと伸びはなかったが、最高点は前期:915点、後期:890点となり、一定の効果が現れたと考える。		
研究	0.30	平成27年度科学研究費助成事業(研究活動スタート支援)応募予定 「大学生における自己効力感の発揚契機に関する研究」		0.30	研究活動スタート支援には応募できなかったが、科研費には「大学生における組織コミットメントの高揚とキャリア意識の発達」のテーマで応募することができた。		
社会 貢献	0.10	・キャリアコンサルタント養成指導者に対する資質向上のための研修 (一社)日本産業カウンセラー協会 沖縄支部 ・公的機関における就労支援担当者に対するキャリアコンサルティング研修 沖縄労働局他 (予定)		0.10	(一社)日本産業カウンセラー協会 沖縄支部主催の「キャリアコンサルタント講座」、「キャリアコンサルティング技能検定対策講座」において講師を務めた。		
管理 運営	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			